

# 業務瓦版

2014年 1月 27日  
第 22 号

JR東海労新幹線地本

業 務 部

## 「東京修繕車両所構内操縦者の要員体制見直し」 に関する申し入れ（申10号）で業務委員会開催！！

2013年12月24日に提案された「東京修繕車両所構内操縦者の要員体制見直し」に対し、申10号（12月27日）を申し入れしていましたが、これについて2014年1月21日に業務委員会を開催し会社と協議をおこないました。

協議の内容は以下のとおりです。

### 「東京修繕車両所構内操縦者の要員体制見直し」に関する申し入れに対する会社回答

1. 構内操縦日勤担当の出面8名を1名減とする提案がされたが反対である。撤回せよ。

**【会社回答】**

その様な考えはない。

2. 構内操縦日勤担当の出面8名を1名減とする根拠を明らかにすること。

**【会社回答】**

日勤時間帯の入換本数が、10本以上減少する見込みであり、一名減が妥当であると考えている。なお、一人当たりの入換本数は現行約10本であるが、見直し後は約9本を見込んでいる。

3. 構内操縦日勤担当の出面7名になった場合の運用を具体的に説明すること。

**【会社回答】**

必要な社員に対して事前に説明を実施する予定である。

4. 両検修庫を共通して担当する体制とするとの考えは、勘違いやミスを誘発されるなど安全上問題があると同時に労働強化につながる。従来在庫ごとの担当とすること。

**【会社回答】**

その様な考えはない。

5. 東京車両所に入庫する列車本数が減少するとの説明があったが、どの程度減少するか3月のダイヤ改正前と後の基本ダイヤを明らかにすること。

**【会社回答】**

定期および季節列車で10本程度減少する。なお、基本ダイヤを明らかにする必要はないと考えている。

# ”削減ありきの会社”！！ 「詳細は検討中」！？と開き直る会社！！

## <主な論議>

組合：要員減の主な根拠を明らかにされたい。

会社：入換本数が10本程度削減する見込みであり一名減が妥当と考える。また、基本ダイヤによる一人当たりの平均作業量は現状10本であるが、ダイヤ改後は9本となる。

組合：作業量の減少が今回の削減の根拠なら、今後作業量が増えた場合は要員を増員するという考えで良いのか。

会社：その時に判断する。

組合：第一構内と第二構内を込みで作業を行うとの提案であるが、現状とどの位変化があるのか具体的に明らかにされたい。

会社：そこは検討中で、今ここで明らかにできない。

組合：現場で事前に説明するとあるが、いつ行うのか。

会社：実施一週間前までには説明したい。

組合：列車報は、第一第二の二枚を持って作業するのか。

会社：検討中である。

組合：二枚持って作業となれば、見間違えによるミスを誘発するため、出来るだけ現行の作業の範囲を維持するようにされたい。

会社：列車報をどうするのか検討しているところである。

組合：第一、第二の込みで運用になれば、広大な敷地内を行き来することになり、安全上問題でありさらに労働強化になる。

会社：効率的に作業できるように検討しているところである。

組合：現行、変更があった場合の連絡は、第一は第一、第二は第二で行っているが、込みで運用するなら連絡体制をどのように考えているのか明らかにされたい。

会社：検討中である。

組合：検討中ばかりでは話にならない、業務委員会なのだから誠意ある回答をされたい。  
詳細について再申し入れをするので、誠意ある回答をすること。

[\\*私たち新幹線地本は職場の組合員・社員の声をもとに、安全で働きやすい労働条件および職場環境の改善に向けて、今後も会社に申し入れを行い問題解決に向け協議していきます。問題点や要望事項等があればJR 東海労新幹線地本までお知らせ下さい。](#)

電話番号

03-3201-0350

メールアドレス

[jrcushinkansen@yahoo.co.jp](mailto:jrcushinkansen@yahoo.co.jp)

お気軽にアクセスしてください